

10月診療のご案内 ご予約は048-556-4581(代)へ

予約外でお越しいただく患者さまへ

●内科の受付時間は、診療終了時間の30分前までとなります。●歯科は完全予約制となりますので急患の場合はご連絡ください。
※なお、発熱が続くなどコロナウイルス感染症が疑われる場合は事前にご連絡ください。

診療時間		月	火	水	木	金	土
内科	午前 月～土曜日 8:30～12:00	植山 胃カメラ・西巻	富澤 井上	井上 植山	菊池 胃カメラ・西巻	菊池 / 担当医 栄養相談・安達	吉野(第1) 植山(第3) 井上(第4)
	夜間 火曜日 17:00～19:00		富澤				
歯科	午前 月～土曜日 8:30～12:00	山内 青柳	荒木	早田(真) 青柳	早田(真) 青柳	山内	山内 青柳 (第1・3)
	午後 月、火、金曜日13:00～17:00 木曜日.....13:00～16:00	松澤 青柳	山内	山内 青柳	山内 青柳	早田(幸)	
	夜間 木曜日.....17:00～19:30				山内		
訪問診療	内科 午後	植山	井上	井上		担当医	
	歯科 午前	松澤	山内	山内 摂食・嚥下 山崎(第3)	山内	早田(幸)	吉崎 (第1・3)
	午後	山内	荒木	早田(真)	早田(真)	山内	吉崎 (第1・3)

休診日/日曜・祭日、第2土曜日(内科・歯科)、第4土曜日(歯科)
医療福祉相談/毎週木曜日(祭日休)9時～12時45分 診療所相談室

医療福祉、介護などの相談を行っています。受付職員にお尋ねください。

訪問診療について

当診療所では通院が難しい患者さまについて、内科・歯科ともに訪問診療を実施しております。事前の申し込みやご家族さまなどの面談が必要となりますので、まずはお相談ください。なお、介護保険の認定を受けている方は別途、介護保険での自己負担があります。

行田市胃カメラ検診のご案内

【毎週 月・木曜日実施】

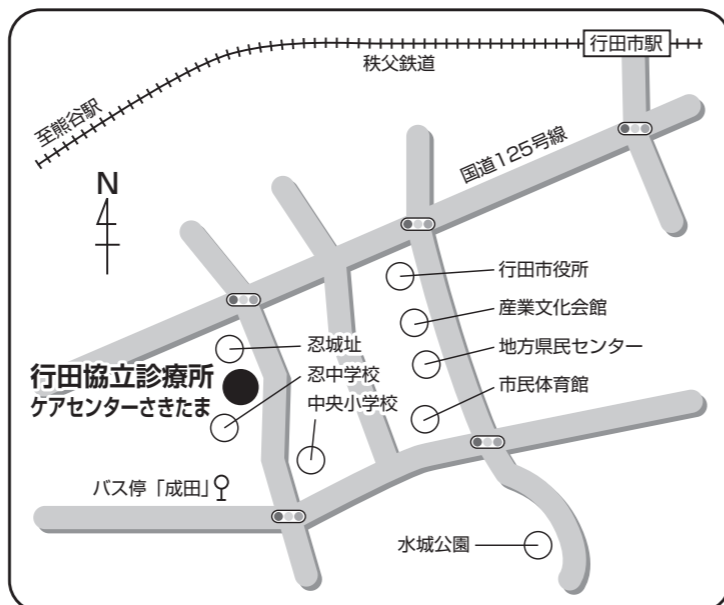
行田市にお住まいの40歳以上の方が対象です(市の胃レントゲン検診及び人間ドック等で胃カメラ検診を受けた方は対象外)。行田協立診療所の胃カメラ検診は月・木曜日の午前中に予約をお取りできます。費用は3,000円です。ぜひご予約ください。

うきしるカフェのご案内 (認知症カフェ)

10月14日(水) 14:00～15:30
場所:診療所会議室
テーマ:「クラフトテープでアート」
＜担当者＞:藤波、野木まで

摂食・嚥下の取り組み

歯科では嚥下内視鏡での検査を実施しています。食事にムセたり、肺炎をくり返す方は歯科衛生士にご相談ください。



1ページの写真の答えは、歯科のでのウイルス防護対策

お城の見える診療所

第344号

きょうりつだより

2020年

10月号

<http://www.gyouda-clinic.coop/>

医療生協さいたま生活協同組合 行田市本丸18-3
行田協立診療所 内科・歯科・在宅医療 048-556-4581
短時間通所リハビリテーションたびくら 048-501-8740
ケアセンターさきたま (居宅介護支援・訪問介護・訪問看護・小規模多機能ホーム) 048-556-4612



さてこの姿は? 答えは4ページ

医療生協さいたまでは法人として、医療介護の質の向上と利用者の満足度を高めるISO9001を取得しています。



左から猪股、並河、五十嵐の各職員です

行田市地域包括支援センター ほんまる

10月1日診療所内にオープン

仮事務所での業務を開始します
地域の介護予防・高齢者支援の総合センターです

介護を考え始めた時、まず最初に相談するのは「地域包括支援センター」です。行田市5カ所目となるケアセンターさきたまの「ほんまる」がいよいよスタートです。

住み慣れた地域での生活が続けられるように

地域包括支援センターは、対象地域に住んでいる概ね65歳以上の高齢者、またはその支援のための活動に関わっている方が利用します。

専門知識を持った職員が、高齢者が住み慣れた地域で生活できるように介護サービスや介護予防サービス、保健福祉サービス、日常生活支援などの相談をはじめ、介護保険の申請窓口にもなっています。

介護や介護予防に限らず、心配ごとや困っていることがありましたらご遠慮なく「ほんまる」にご相談ください。

地域包括支援センター4つの役割

介護予防ケアマネジメント
要介護にならないように介護予防支援を行います。



高齢者総合相談
必要なサービスや制度を紹介します。



権利擁護
成年後見制度の活用や虐待防止の取り組みを行います。



包括的・継続的ケアマネジメント
地域ケア会議の開催やケアマネジャーへの支援を行います。



行田市地域包括支援センター ほんまる

お問い合わせ・連絡先 TEL.048-578-7761

「ほんまる」の対象地域

忍、行田、星宮、持田の一部(菅谷、一持田北・南、県営持田団地、持田長町、二持田第一・第二・蔵場、三持田大宮口・東部)、駒形、西駒形

インフルエンザ予防接種について

インフルエンザワクチンの納品予定が10月末まで不明確であるため、11月以降に定期通院される方のみ接種をご案内しています。ご理解ご協力をよろしくお願い申し上げます。

お問い合わせは診療所へ 556-4581(代)

診療所からののお知らせ

地域健康講座 「フレイルについて学ぼう」10月24日(土) 14:00~16:00

最近話題のフレイル(虚弱)について、その予防体操など実践を交えて学びます。 <参加費無料>

会場：行田市コミュニティーセンターみずしろ1階ギャラリー

講師：行田協立診療所看護師(予定)

申し込み・問い合わせ：行田協立診療所 高橋まで



ウォーキングイベントのお知らせ 11月29日(日) 8:30~12:00 (行田協立診療所集合)

行程：行田協立診療所~忍中学校~水城公園~さきたま古墳公園

内容：インストラクターからウォーキングの基礎を学び、健康に長く歩き続けるポイントを習得します。

新しい診療所のご案内もさせていただきます。

雨天決行(忍中学校の柔道場をお借りします) 申込連絡先048-556-6755(直通) 担当：高橋まで

診療所の短時間通所リハビリテーション **たびくら** 参加者募集中

(要支援~要介護1~2の方が対象です)

見学だけでも大丈夫です。お気軽にお越しください。ご利用を希望される方は担当ケアマネジャーにご相談ください。 連絡先048-501-8740(直通) 担当：北谷戸まで



組合員活動ニュース

医療生協さいたま利根北地区 行田西北支部

西北支部担い手さん募集中

西北支部の担当地区

コロナ禍の今だからこそ、一緒に健康づくりしませんか！
~少子高齢化の今、人と人とのつながりこそ財産です。

矢場、城西、小敷田、皿尾、中里にお住いの方が対象です。



皆様のなかには、コロナ禍で体力の低下や会話の機会が減ったと感じる方はいませんか？ 情報が氾濫し、何を信じたらいいのかわからないと不安な方はいませんか？ こんな時代だからこそ、人とつながるボランティアをやりながら、正しい健康知識も得られる医療生協の活動をやってみませんか。

現在、当支部では機関誌の仕分けや配付をしていただける方、健康や介護情報をアップデートしたい方を募集しています。機関誌の仕分けは

月に1回、感染予防に十分注意した上で、旬の話題や健康情報などを楽しくお話ししながら行います。おしゃべりは脳に刺激を与え感情を豊かにするそうです。

また機関誌配付は、月1回ご近所の組合員に配付していただくものです。

あなたと一緒に活動できるのを楽しみにしています。一歩踏み出してみませんか。

(医療生協さいたま利根北地区理事：石濱 妃代恵)

少しの時間で
人の役にたたい
ちよっぴり地域に貢献したい
そんなあなたに最適です

ケアセンター通信 ~ケアセンターさきたま~

小規模多機能ホームうきしろ日誌より… 野菜づくりはじめました。

コロナ禍と共に残暑の中、皆様はいかがお過ごしでしょうか？

今回は、小規模多機能ホームうきしろでの生活風景をご紹介します。

7月には園芸を始め、利用者様にも手伝っていただきながら夏野菜を育て始めました。プランターに苗を植えたりお水をあげたりしていただいています。暑い中ですが土いじりが好きな方も多く、楽しんでいただけたようです。みんなで育てた野菜が収穫されたらお昼ご飯として調理し、提供できたらと考えています。



自分たちで作ったものをみんなで食べられたら素敵ですね。



うきしろでは今後もみなさんが楽しめるイベントを計画し、実施していきたいと考えています。ぜひ有意義なお時間をお過ごしいただければと思います。近くにお立ち寄りの際は、見学を兼ねて行田協立診療所2階まで、お気軽にお尋ねください。



歯科だより

口腔機能低下症(オーラルフレイル)にご用心

コロナウイルスより格段に多い、
誤嚥性肺炎の死者数

「口腔機能低下症(オーラルフレイル)」とは、加齢などにより口腔内の「運動性」「咀嚼力」「嚥下力」「唾液分泌量」等の食事をするために必要な機能が低下している状態です。私達はコロナ禍によって外出や交流の機会が減少したことによる活動量の低下、受診抑制による口腔内環境の悪化を憂慮しています。コロナウイルスを恐れるあまり、むし歯や歯周病の進行による痛みや誘発・保存困難による抜歯、口腔内清掃状態不良による誤嚥性肺炎の発症など、健康に害を及ぼすと元も子もありません。

最近では著名な俳優や歌手の消息記事の中に「誤嚥性肺炎」を目にする事が増えました。肺炎の死者数は年間約



13万6千人、そのうち誤嚥性肺炎で亡くなる方は約4万人です。2019年における死因では6番目になっていて、国の対策としても重要課題となっています。

誤嚥性肺炎は、嚥下(飲み込み)時食道を通過するはずの食べ物や唾液が口腔内細菌と一緒に誤って気管に入り、肺の中で細菌が繁殖することで起こる炎症ですが、近年口腔内を清潔に保つ事や口腔や咽頭の機能を高める事でリスクを減らせる事が分かってきました。

当院では嚥下内視鏡検査による嚥下機能の精査や専用機材を用いた口腔機能低下症の検査を行っており、むし歯や歯周病だけでなく皆様の食事を守るための治療を行っています。以前までは歯医者は痛くなってからというのが当たり前でしたが今は予防を重視しており、痛くなる前からの定期的な受診を勧めています。

歯の異常だけでなく食後の喉の違和感や食事のムセ、食べにくさなどささやかな事でも受診していただけたらと思います。コロナウイルス対策も最善を尽くして診療を行っておりますので安心してお越し下さい。



歯科医師
山内 敦